



株式会社下村漆器店  
代表取締役社長 下村 昭夫 氏

（株）下村漆器店（鯖江市片山町8・7）の主力商品は、業務用食器だ。今回、同社が出品するのは、遠隔操作できる調理システム「インカートクックシステム」。主食・主菜・汁物の材料や調味料を専用の器に盛りつけてIH調理器にセット。スマートフォンなどの専用アプリから調理時間をセットするだけで、その場にいなくても任意のタイミングで食事の用意ができる。例えば、朝の出勤前に調理器に材料などをセットし、アプリから食事をする時間等を送信すれば、その時間に合わせて加熱調理が始まる。一人暮らしでも帰

**遠隔操作でらくらく調理  
健康な食生活をサポート**

宅してすぐに出来立ての食事を楽しむことができ、急に残業が入ったとしても、アプリ上で調理時間を変更できる。

インカートクックシステムは単なる調理器具ではない。もともとは病院や福祉施設の給食システムとして開発された。年間で決められた献立に沿って食材が発注され、届いた食材を器に盛りつけて加熱をすることで食事が提供される一連のサービスだ。献立は管理栄養士が作成するため、決められた操作をするだけで栄養バランスのとれた食生活を維持できる。「栄養バランスの良い食事」と聞くと味気ない印象があるが、このシステムで提供される食事はそれを感じさせない。同システムで調理された食事は、中までしっかりと味が染み込んでおり南瓜の煮物などは、まるで家で手作りした出来立ての料理のような美味しさだ。下村昭夫社長は「このシステムは、献立

**最先端技術が拓く未来の暮らし**  
～近未来の生活に触れてチャンスを掴め～



10月25日(休)・26日(金)の二日間にわたり福井県産業会館にて北陸最大級の技術展示会「北陸技術交流テクノフェア2018」が開催される。特別展では、「テクノロジーが支える暮らしと働き方」をテーマに、自動化や省力化といった、我々の仕事を支え、暮らしを豊かにする新たな技術を展示する。今回の特集では、特別展に参加する県内企業・団体をテクノフェアに先駆けて紹介する。

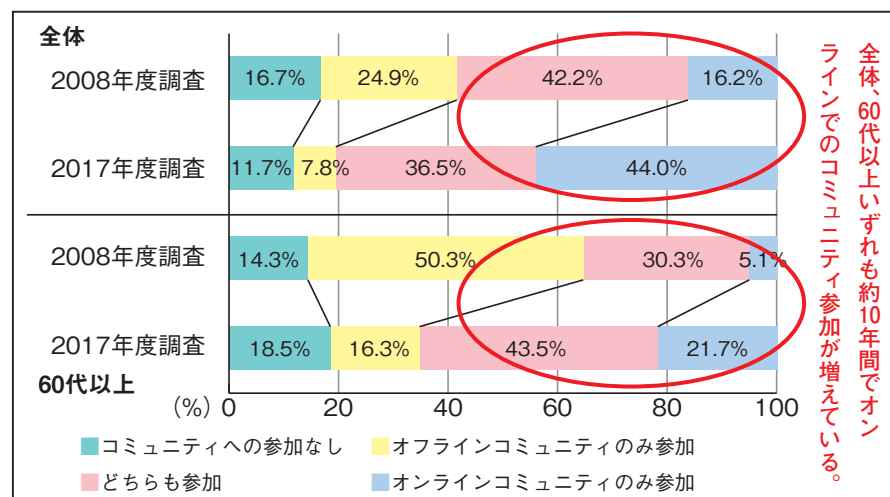
**暮らしと地域社会を支えるIoT・ICT技術**

IOT・ICT技術の進展は業務の自動化や労務管理などの生産性向上だけでなく、遠隔操作技術やビッグデータへの活用により消費者の暮らしにも影響を与え始めている。

平成30年度に総務省がまとめた情報通信白書によれば、特にIoTの活用が進んでいる分野として、自動車分野や住宅・家電分野が挙げられている。自動運転車の開発や家電のIoT化は、我々の生活をより便利なものに変えてくれる。

産業分野だけでなく、コミュニケーションツールとしてのICT導入も進んでいる。同白書のコミュニティへの参加状況の調査では、2008年との比較で全体のみならず、60代以上でもオンラ

コミュニティへの参加状況（日本）



（出典）2008年度調査は総務省「ユビキタスネットワーク社会における安心・安全なICT利用に関する調査」（2009）、2017年度調査は総務省「ICTによるインクルージョンの実現に関する調査研究」（2018）

インのコミュニティ参加が増えており（左グラフ）、コミュニティの形成にもICTの活用が今後期待される。実際に東京都江東区では、企業が開発した地域SNSが行政情報の提供や住民間の情報共有を促進しており、ICT利活用の事例として挙げられている。



インカートクックシステムの使用  
イメージは右のQRコードをチェック！→



→病院や福祉施設にて運用されている加熱調理機。一品ごとに加熱時間が最適化され、過加熱による劣化は一切ない。

の予定や調理開始の予約、及び調理中の状況などがデータ化されている。これらを活用すれば、栄養管理や食事時間の把握が可能だ。最近では施設の介護から在宅介護へとシフトしており、高齢者の看護・介護を行う医療機関や福祉団体などと連携できれば、地域包括ケアシステムとして社会福祉の一端を担うこともできる。今後も改良を重ねる来年には製品化したい」と熱く語った。

**個別の顧客に対応した  
コネクティッドサービス**

福井トヨタ自動車（福井市下荒井町19字50）は、今年6月に発表された新型「クラウン」に搭載される「コネクティッドサービス」を出品する。このサービスの特徴は、スマートフォンとマイカーをアプリを通して繋ぐことで、車の状況確認やドアやランプの遠隔操作ができる。車に乗る前にSNSのLINEを通して行き先を設定すれば、車内のナビで目的地設定をする手間を省くこともできる。

同社の担当者である原章氏は、コネクティッドサービスの開発背景について、「これまで業界は、生産者目線で開発した車を顧客に販売しており、顧客の声を取り入れるのが疎かになってきた。クルマ離れと言われる近年、従来のやり方は通用しないことが売上からはっきりと分かる。顧客への迅速なレスポンスやデータ収集のた



